

1. 官民協議会の進め方について

2021 年度中に「空の移動革命に向けたロードマップ（以下、ロードマップ）」の改訂に向け、実務者会合、ユースケース検討会、各ワーキンググループを開催する。

2. ユースケース検討会について

○検討テーマ：

- ・ ロードマップの改訂に向けた検討（制度・体制整備、機体・技術開発、ポート等）
- ・ 中長期的なユースケースについての検討

○2021 年度の進め方

- ・ ユースケース検討会への参加募集と参加メンバーの確定
- ・ 6 月以降キックオフし、複数回の開催を予定

3. 大阪・関西万博×空飛ぶクルマ実装タスクフォース（以下、タスクフォース）について

○検討テーマ：

- ・ 大阪・関西万博での空飛ぶクルマ飛行実現のための課題・検討事項等の整理

○2021 年度の進め方

- ・ 空飛ぶクルマの活用構想プレゼン事業者を協議会構成員から募集（タスクフォースメンバーの確定）
- ・ キックオフ会議の開催
- ・ 必要に応じ複数回開催
- ・ 博覧会協会におけるコンセプト、運営計画策定に向けた情報提供を実施するとともに、政府における制度整備の参考情報とする。

4. 機体の安全基準 WG、操縦者の技能証明 WG、運航安全基準 WG について

【共通】

○検討テーマ：

- ・ ユースケース検討会にて提示されたユースケースの実現に向けた制度整備
- ・ 国際動向を踏まえた制度整備

○2021 年度の進め方

- ・ それぞれ複数回開催
- ・ 令和 2 年度のとりまとめを踏まえ、具体の検討を進める。
- ・ 本格的な試験飛行の実施を見据え、試験飛行のためのガイドラインを策定

【機体の安全基準 WG】

- ・ eVTOL（操縦士が搭乗しないものも含む）で安全基準として考慮すべき事項の策定のための検討の流れに沿って引き続き検討を実施。

- ・ 具体的には、2020年度で整理した eVTOL の設計の特徴や想定される機能を踏まえて、安全基準として考慮すべき事項を整理の整理に向けて、設計要件の分析・産業規格の調査を実施。

【操縦者の技能証明 WG】

- ・ 2023 年からの事業開始を見据え、2021 年度は国内外の動向を引き続き調査のうえ、2020 年度の検討結果を深掘りしつつ操縦者及び整備者の要件を整理。
- ・ 技能証明（操縦者が乗り組んで運航する場合）、無操縦者航空機（遠隔操縦機等）の許可基準の検討。

【運航安全基準 WG】

- ・ 2023 年の運航開始の実現に向けて、2020 年度に整理した課題の解決に向けた検討。
- ・ 中長期（2020 年代後半以降）の遠隔操縦／自動飛行や運航の高密度化の実現に向けた課題整理を行い、その後課題解決の検討を開始。
- ・ 2023～2025 年の初期的な運航の確実な実施やその後の多頻度・高密度運航の実現に向けて、低高度空域の具体的な航空交通管理手法に関する検討を加速。想定される運航者等へのヒアリングを通じて、課題解決に向けた検討事項を本 WG へインプット。